

いつでも本に戻れるように！

1 活動の概要

開成町における読書活動の現状として、「ブックスタート事業」や「開成町ファミリー読書デー」、「電子書籍の活用(e-library)」、「読書活動イベントの開催」など、家庭や園・学校、町民センター図書館において読書活動を推進している。

令和3年に町内の小中学生を対象に、読書活動に関するアンケートを取った結果、「読書が好き」と回答した子が多いものの、学年が上がるにつれて不読率が高くなる傾向が明らかになった。また、成長とともに生活環境が変化し、本を読む時間を確保できないことも分かった。そこで、「本を読まなくなるのは、本が嫌いになった訳ではないため、きっかけがあれば再び本を読むのでは」と考え、本の楽しさを思い出し、いつでも本に戻れる環境づくり（子ども向けアプローチ・若者向けアプローチ・大人向けアプローチ）を行っている。



2 活動の状況、実際

【子ども向けアプローチ】⇒本の楽しさを知ってもらう

- ・どくしょつうちょう ・ブックスタート事業
- ・キッズライブラリー ・プレイパークで本を（図鑑等）
- ・児童書専門店「子どもの本箱」

【若者向けアプローチ】⇒他者とのコミュニケーションツール

- ・町図書室主催でポップづくりや帯づくり
- ・図書室内のレイアウトを若者向けにする工夫

【大人向けアプローチ】⇒深い学びをくすぐる

- ・大人向け絵本 ・ワークショップ「絵本セラピー」
- ・読み聞かせの様子を動画配信



「どくしょつうちょう」



「キッズライブラリー」

3 参加者、指導者等の声

- ・まずは、子どものうちに本の楽しさを知ること、そして、その気持ちを消さないことが大事です。子どもの頃に感じた「本の楽しさ」を思い出し、「本のよさ」に気付いて、いつでも本に戻れる環境づくりを目指していきたいです。
- ・読書をとおして「人との関わり方」を学んだり、「深い学びを実現」したり、「心を成長」させたりなど、様々な知識や経験を得ることができます。読書で得られるものは、歳を重ねても変わりません。世の中がどんなに変わろうとも、読書活動を大切にしていきたいです。



児童書専門店「子どもの本箱」